



### JETAA の連携会議を開催 ～コロナ禍の取り組みや支部運営の課題を共有～

(一財)自治体国際化協会シンガポール事務所 所長補佐 茂木 洋平 (東京都足立区派遣)

クレアシンガポール事務所では7月3日、事務所所管国におけるJETAAの連携会議「JETAA Networking Session for Southeast Asia and India」をオンラインで開催しました。会議には、シンガポール、フィリピン、インドネシア、インドのJETAA4支部のほか、マレーシア、ミャンマー、タイ、ベトナムのJETプログラム参加者・経験者、彼らと日頃から連携する各国の大使館・領事館の職員、クレア職員を含む総勢44名が一堂に会し、各支部による発表と参加者による意見交換が行われました。

#### JETAA とは

JETAA (JET Alumni Association) は、主に外国語教育の充実や地域の国際化を目的として、自治体などが海外の青年を任用するJETプログラムを終了したJET経験者有志の親睦団体で、日本とJETプログラム参加者の出身国との相互理解を深めることなどを目的として、それぞれの国でさまざまな活動を行っています。

現在、シンガポール事務所所管国では、シンガポール、フィリピン、インドネシア、インドの4カ国でJETAA支部が活動しており、当事務所では、各支部の円滑な運営をさまざまな形で支援しています。

#### 連携会議の概要

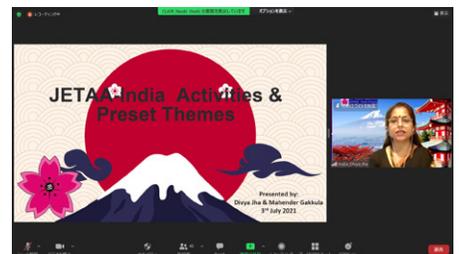
2020年度、新型コロナウイルス感染症の感染拡大によりJETAA支部でもメンバー間の交流を含む通常の活動が行えなくなり、各支部から困惑の声が聞かれるようになりました。こうした声をきっかけに、JETAA支部間の連携強化や情報交換などを目的として、2020年11月に所管国内JETAA支部による連携会議をオンラインで初めて開催しました。会議では、各支部から支部の基礎情報や活動実績・活動計画に関する発表が行われ

たほか、参加者間で活発な情報交換が行われるなど、出席者にとって実りの多い会議となりました。

2021年度も、依然として続くコロナ禍で孤立しがちな各国のJETAA支部同士の連携を強化し、彼らを支援することを主な目的として、連携会議を開催することとしました。会議に先立ち、議論したいテーマなどについて各支部あてにアンケートを実施したところ、支部活動にメンバーを巻き込む工夫やコロナ禍で支部運営に役立つツールを知りたいといった意見が寄せられたことから、各支部には、前回の会議以降の活動実績や2021年度の活動計画の紹介に加え、これらの意見を踏まえた発表内容を検討いただきました。

#### 支部の発表

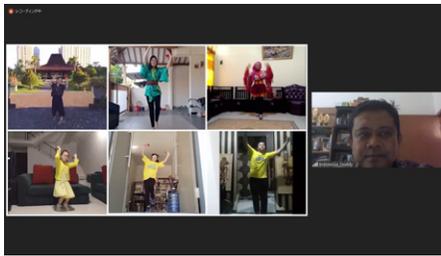
インド支部からは、JET参加者育成にもつながる現地日本語学校とコラボした「オンライン日本語クラス」の実施計画や他支部と連携した企画実施への希望が語られました。また、支部メンバーを活動に巻き込む工夫として、JET参加者・経験者からの意見を反映して支部内に新たな役割をつくるなど、参画しやすい仕組みづくりを検討していることが共有されました。



今年度の活動計画や事前設定テーマについて発表するJETAAインド支部会長

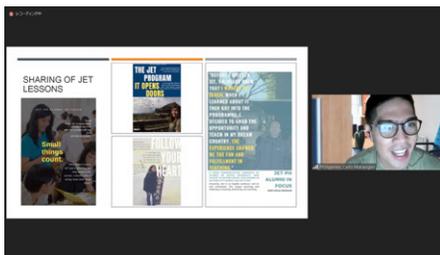
インドネシア支部からは、高知市の姉妹都市であるスラバヤ市にある、在スラバヤ総領事館の協力を得て2020年度に制作した「よさこいの踊り」の動画が共有されたほか、メンバーの活動への動機づけとして、料理、

ダンス、日本語など誰でも参加できるイベントを定期開催して、支部活動への接点を増やす工夫が語られました。



2020年度の活動の一環で作成した動画を紹介する JETAA インドネシア支部会長

フィリピン支部からは、フィリピンで最もよく使われているオンラインツールの Facebook を主に使用して、JET プログラムの紹介や日本関連情報を発信しているほか、日本文化を紹介するワークショップなどに Facebook Live や YouTube でライブストリーミングを行っていることが共有されました。



2020年度の活動実績について発表する JETAA フィリピン支部会長

シンガポール支部からは、支部活動に役立つ複数のオンラインツールが紹介されました。オンラインのワークショップなどでクイズやアンケートを行う場合や、参加者からフィードバックを得たい場合など、目的に応じて使い分けているということです。また、メンバーの活動への動機づけとして、JET 参加者にメンターをつけ、出国から帰国までサポートし続けることで、帰国後に自然に支部の活動に参加する体制を作っていることが共有されました。



2021年度の活動計画について発表する JETAA シンガポール支部会長

## 発表後の情報交換・意見交換

発表後には、支部同士で現地日系機関と連携した事業の進め方に関する情報交換や、支部運営における長期的なビジョンの必要性など、それぞれの支部が抱える課題に関して意見交換が行われたほか、支部が未開設の国の JET 参加者と支部の間でも終了予定時間を超えて活発な質疑応答が行われました。

特に、前回の連携会議で支部設立に興味を示し、支部の設立方法に関して質問をしたマレーシアの JET 参加者からは、オンラインで精力的な活動を行うインド支部へ具体的な実施方法などについて積極的な質問が行われ、質疑後には、対応したインド支部がマレーシアの JET 参加者に今後の連携やサポートを約束する場面も見られました。

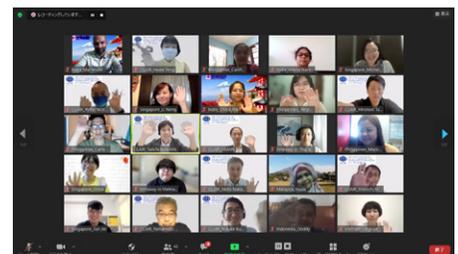


マレーシアの JET 参加者の質問に答える JETAA インド支部会長

## おわりに

今回の連携会議は、国や支部の有無といった垣根を越え、当事務所所管国内の JETAA 支部同士がお互いを知り、連携を強化する有意義な場となりました。普段はそれぞれ違う国で活動する JETAA の各支部にとって、情報や課題を共有でき、刺激し合える仲間との横のつながりは、重要な意味を持つはずですが、JETAA 支部が未開設の国の JET 参加者や経験者たちにとっても、JETAA の活動を知る良い機会になったと思います。

当事務所では、引き続きこのような取り組みを通して JETAA 支部同士のさらなる連携強化を図り、日本と各国の懸け橋である JETAA の活動を支援していきます。



会議参加者（一部）の記念撮影